

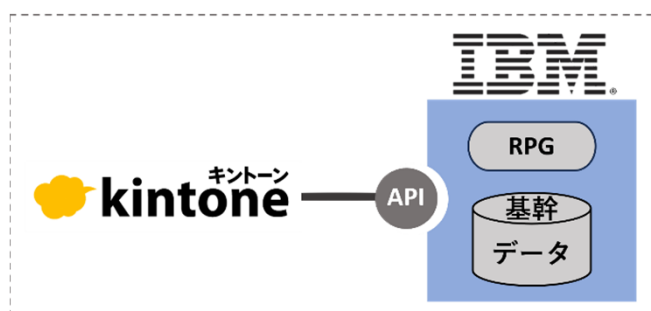
IBM i と kintone の API連携

IBM iの基幹データをkintoneで効果的に活用したいと考えるニーズが強まっています。そこで「i-Data Box」を利用することで、IBM iの基幹データをリアルタイムでkintoneに反映させることができます。

i-Data Boxは、IBM iのプログラム資産をAPI公開する【APIサーバー化】と、IBM iから外部APIを呼び出す【APIクライアント化】の二つのサービスを提供します。

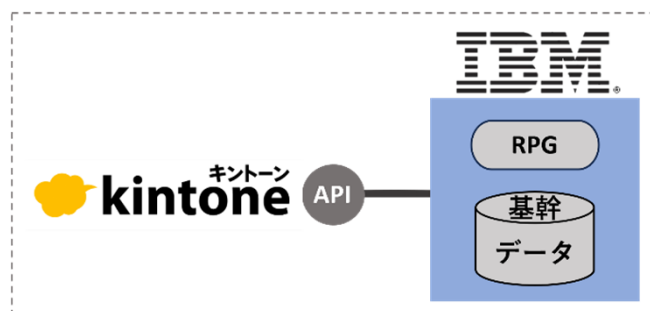
◆ i-Data Boxの特徴 ◆

APIサーバー化



kintoneのアプリケーションから基幹システムのビジネス・ロジックやデータを呼び出すことが可能です。

APIクライアント化



基幹システムからkintone上のデータを取得し更新処理を行うことが可能です。

◆ こんなお悩みありませんか？ ◆

- ✓ リアルタイムでkintoneとIBM iを連携させたい。
- ✓ 既存のRPG/CLなどの資産を活用したい。
- ✓ API連携の技術者が不足している。または、技術者がいない。



API連携の導入・開発・運用に関するお手伝いを様々な形でご提供いたします。

- ✓ i-Data Boxの導入を支援し、基幹システムとkintoneの連携をサポートいたします。
- ✓ 既存の基幹システムを解析し、最適なkintone化を提案いたします。
- ✓ kintoneとIBM iを連携させたシステムを構築することで、API実行後に受信したデータをリアルタイムで取り込むことができます。

ライセンス料金

*毎年12万円の費用が発生いたします

製品名	Starter Kit	Solution
特徴	スターターキット	SaaSなど、特定の用途に利用
料金(参考) ※税抜	12万円*	80万円 (保守費用:定価25%/年)
用途	まずはAPIを試してみたい	SaaSやIBM iに特化ソリューション連携
APIサーバー化	定義数・実行数 制限あり	用途別に制限あり
APIクライアント化	定義数・実行数 制限あり	用途別に制限あり

システム要件

導入環境	IBM i 7.3以上
ライセンスプログラム	<p>5つのライセンス・プログラムが前提となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5770-SS1 33 Portable App Solutions Environment 5770-SS1 30 Qshell 5770-DG1 *BASE IBM HTTP Server 5733-SC1 *BASE IBM Portable Utilities 5733-SC1 1 OpenSSH, OpenSST, Zlib

支援サービスの流れ

	支援ステップ	備考
1	要件確認・分析	<ul style="list-style-type: none"> お客様の業務内容をヒアリングさせていただきます ヒアリングを通じてシステム概要を把握し、kintone化に向けた要件定義をいたします
2	システム化の設計	<ul style="list-style-type: none"> 分析した内容を踏まえて、システム化の設計をいたします お客様主体でシステム構築される場合は、設計をサポートいたします
3	システム構築	<ul style="list-style-type: none"> kintoneアプリの構築をいたします i-Data Boxを活用し、kintoneとIBM iを連携させたシステムを構築いたします
4	本番導入	<ul style="list-style-type: none"> 構築したシステムをお客様の環境に導入いたします お客様主体で導入される場合は、必要なサポートをいたします

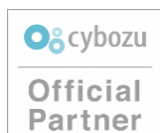

AGSビジネスコンピューター株式会社
<https://www.ags-bc.co.jp/>

【本社】
〒330-0835
埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-299-12
富士さいたま新都心ビル西館
TEL : 048-677-6020 FAX : 048-677-6026

【お問い合わせ先】

【総合受付】

製品・サービス総合窓口 TEL : 048-677-6021

E-mail : webmaster@ags.co.jp

※ 本パンフレット記載の内容は、2024年10月現在のものです。

※ 本パンフレット記載の内容は、その後の改良等により、予告なく変更することがあります。

IBMは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。